

「口腔期，咽頭期嚥下障害患者の嚥下機能に関する後ろ向き調査研究」

お知らせとお願い

<研究の背景，目的，概要>

食べ物がうまくのどに送り込めない，のどに食べ物がひっかかるなどの口腔期，咽頭期の嚥下障害には，舌の動きが悪いことが影響している場合があります。当科では，舌の運動障害を持つ患者さんを中心に，嚥下障害の評価や機能回復に関する治療を行ってきております。

このような患者さんの原因は舌癌の術後，脳血管障害，神経筋疾患などさまざまであり，どのような疾患，舌の状態の方が，どの程度の障害があるのか，訓練などによりどこまで良くなるのか，についてはまだ全国的にも十分説明ができるほどには，解析されていません。

この研究では，口腔期，咽頭期の嚥下障害をもつ患者さんの嚥下機能の検査結果と臨床情報（嚥下障害の原因疾患，口腔内の状態，手術等治療内容，経過など）を詳細に検討することにより，機能の予後の予測に役立てたいと思っています。

<研究対象>

2004年4月から2013年10月までに防衛医科大学校歯科口腔外科において，嚥下造影検査を行った患者さんを対象とします。対象例は約50例です。

<研究の方法・期間>

上記の患者さんの嚥下機能検査の結果を臨床データに基づき解析し，各疾患における嚥下障害の特徴や，嚥下機能に影響する因子を検討します。なお，これらのデータは通常の臨床業務における問診，検査などで得られるものであり，本研究を行うために得たデータではありません。研究期間は平成27年3月末までとします。

<個人情報の保護について>

本研究では，個人情報は匿名化され，個人が特定されることはありませんし，個人が特定されるような情報は一切公表しません。

過去に当科で嚥下造影検査を受けられた方で，ご自身の検査結果や臨床情報を本研究に使わないでほしいというご希望があれば，担当医または下記連絡先までご相談ください。

埼玉県所沢市並木 3-2
防衛医科大学校歯科口腔外科 中島純子
電話：04-2995-1511 内線 3095